

# 南中祭。今年のテーマは「煌星」！

# 舟山

発行者  
幸田町立南部中学校  
鈴木 一也  
第117号

## 南中祭

きらぼし

十月一五・一六日の二日間、南中祭を行いました。今年度は、全校合唱を復活させるなど感染症に対する制限を緩和して開催することができました。生徒たちの工夫によって、一人一人が「煌星」のごとく輝く思い出に残る南中祭となったことと思います。学区の方には稽の設営など大いに助けていただきました。ご理解とご協力、ありがとうございました。



### 三年生としての南中祭

三年 岩瀬 柚月

私は、この二日間がとても思い出に残りました。私たちにあって今回の南中祭が最後になります。ただ楽しませてもらうだけではなく、南中生全員で創る南中祭にするために、まず三年生が中心となって盛り上げていきました。このように、二日間を通して最高学年としての姿とは何か、先輩とはどんな存在なのかを考え直す機会にもなりました。出店準備の後輩との交流では、積極的にかかわり普段見られないみんなの姿を見ることができました。合唱練習もみんなが高め合いながらやり切りました。合唱は最優秀賞を取ることができなかったけれど、南中祭の二日間を通してクラスの絆を深めることができたと思います。生徒会執行部や協力してくれた地域の方への感謝を忘れないで、これからがんばっていきたくたいです。



最高学年の合唱コンクール

### 「いい思い出」にするには

二年 間瀬 奏波

二学期初めの体育大会、南翔結戦で負けました。「負けた」ことに対して悔しいとあまり思えなくて、必死さ、一生懸命な熱量が足りませんでした。

そんな反省を踏まえて迎えた合唱コンクール。目標決めでなかなか方向性が決まらず、内容の薄い練習から入りました。それでも話し合いを重ねることで、雰囲気よく練習することができるようになりました。本気になって取り組んでいると実感できました。

本番を迎えました。すごくいい合唱ができたと思います。ですが、結果は負けてしまいました。町民会館を出て、ミーティングで思わず泣けてきてしまいました。今までにはなかった熱量で合唱に対して取り組めたからだだと思います。

これまで歌ってきた曲の「心の瞳」。歌詞の「時の重さ」、「愛の深さ」を級訓の「龍」につなげていきたいです。悔しさもありますが、合唱コンまでの時間、この仲間とホールで歌えたことは本当にいい思い出になりました。



よい思い出となった合唱

### やりきった合唱コンクール

一年 服部 彩葉

私は合唱コンクールで伴奏をしたのですが、初めて全パートで合わせた合唱を聴いた時、どのパートも上達したと思いました。朝早くに登校したり、給食を食べた後に時間をつくったりして、学年の中で一番練習したと思います。だから最優秀賞でもうれしかったです。本番は緊張していた人もいたと思いますが、歌い出す前にたくさんの方が笑顔になれてよかったです。歌は少しテンポが速くなってしまうのですが、審査員の先生からは「がんばった。」と言っていたので、最後までやり切れてよかったです。また指揮者に合わせて楽しく伴奏できました。今年度は、クラスのみんなと協力して最優秀賞をとることができたので、来年からも、もつと上達できるように、たくさん練習したいです。



1年生、初めての合唱コンクール

# 校内体育大会

大切にしたいと思うこと

一年 牧 大悟

中学校に入学してから、体育大会の南翔結戦で初めてリーダーとして一つのことをやり切れたと思います。リーダーの苦労だけでなく、同時に、リーダーしか味わえない楽しみを知ることができました。私は指示を出すのが得意ではなく、リーダーは自分にあまり向いていないかと思っていました。最初は自分から、あまり指示を出すことができなかったのですが、だんだんと積極的に指示を出すことができるようになりました。また、クラスでは、ダンスの上手な人が、得意でない人に教えてくれました。さらにダンスの内容だけでなく、準備や移動を素早くして、練習時間を長くすることもできました。体育大会の終わった今でも、高め合う気持ちを大切に続けていきたいです。



気持ちを合わせた南翔結戦

# 交流会

何事にも挑戦

二年 竹内 遥馬

私は、今年の交流会では手話に挑戦しています。初めは、「おはよう」や「ありがとう」くらいしかわかりませんでした。耳が聞こえない人の世界を知って、そういう方と手話を通して会話ができるようになりたいと思います。選択しました。

手話の講師の先生方は優しく丁寧に教えてくださいましたので、いつでも自分の名前を手話で表現できるようになりました。その他にもあいさつ、教科、時間、日付なども手話で表現できるようになってとてもうれしかったです、楽しくもありました。講師の方を中心にみんなで温かい雰囲気のできる手話の交流会は、自分にとって大切な時間で勉強になることが多く、次の交流会が待ち遠しいです。また、耳が聞こえない方とも交流してみたいという気持ちをもてるようになりたいです。これから、たくさんの方と交流していくことも多いと思うので、この交流会で教えてもらったことを忘れずに、自分からどんどん人と関わっていききたいです。



交流会「手話」講座

# 新人体育大会

仲間とつかんだ優勝

一年 山田 美音

新チームとなり迎えた、初めての大会となる新人戦。私は、団体Aチームとして出場しました。先輩がいたときから大会には出場していましたが、主軸として出場する大会はまだ違った緊張感がありました。特に、三回戦目は急に緊張感が襲ってきて、どうしようと思ったとき、仲間が「大丈夫、美音なら大丈夫」と優しく声をかけてくれ、緊張が和らぎました。そうして挑んだ試合では、見事団体で優勝することができました。この結果は自分一人ではつかみ取ることができませんでした。日頃の練習でアドバイスをくださった顧問の先生。直前に声をかけ、寄り添ってくれた仲間の存在。そして、夏までいろいろなことを教えてくださいました3年生がいたからです。支えてくださった全ての人への感謝の気持ちを忘れず、次の県大会でもベストを尽くしていきます。

## 後期生徒会役員紹介

会長	二年	清澤 慧大
副会長	二年	村田 泰誠
書記	二年	山本 彩姫
	二年	鈴木 翔也
	一年	杉田 莉亜

## 幸田町中学校新人体育大会

○団体の部

優勝 卓球部男子 卓球部女子

弓道部女子 野球部

○個人の部

優勝 稲吉 陽斗(卓球男子)

高橋 叶慎(卓球女子)

並木亜由菜(剣道女子低学年)

第二位 金子 由愛(卓球女子)

山田 美音(弓道女子)

内藤 大晴(剣道男子低学年)

山崎 菜生(剣道女子低学年)

## よりよい南部中へ

生徒会長 二年 清澤 慧大

南部中には、いつも温かな雰囲気があります。この温かい雰囲気は、南部中学校の伝統の一つである「あいさつ」と「笑顔の花咲く南部中」のスローガンから作られているものだと思います。私は、生徒会長として、積極的に声掛けをして、この二つの目標についての意識や心構えについて伝えていくことで南中生全員で想いを共有し、この温かな雰囲気を守っていききたいと思っています。

また、今年度の全校スローガンである「絆(きあい)」は、学年や地域を越えた絆が大きな力となり、何事もやり抜くという決意が込められています。やり抜いた先に見えた新たな目標をみんなで達成し、更にレベルアップしていける南部中を作っていけるように努めていきたいと思っています。